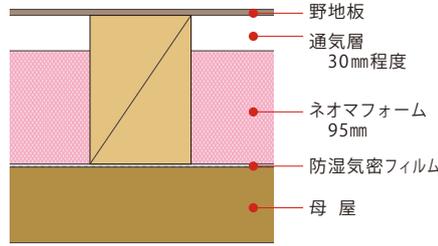
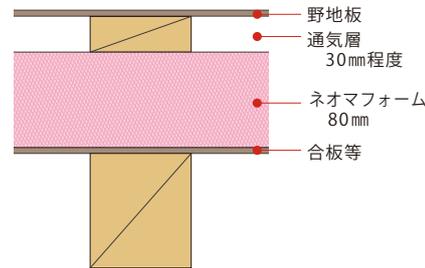


# ネオマフォームの屋根断熱

充填断熱  
95mm<sup>※1</sup>  
(R値4.6)



外張り断熱  
80mm<sup>※1</sup>  
(R値4.0)



最薄でH28年省エネ基準・断熱等性能等級4に適合！<sup>※2</sup>

2015年4月以降トレードオフ規定がなくなりました<sup>※3</sup>



## NEOMA<sup>®</sup>FOAM

高い  
断熱  
性能

最も薄く納まります

木造住宅の屋根充填断熱の  
基準適合厚さ  
(熱抵抗:R値=4.6の厚さ)<sup>※1</sup>の比較

熱に  
強い

夏の日射熱にも溶けません

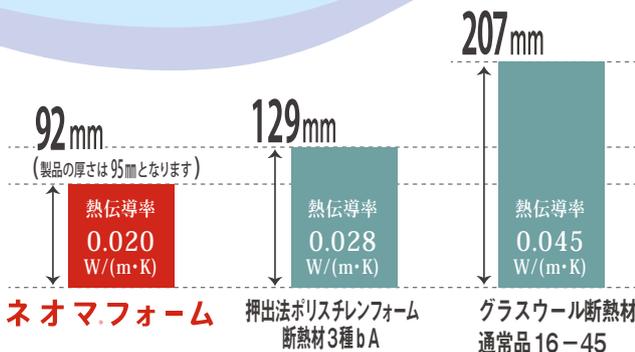
フェノール樹脂は、  
熱に強く、熱で硬化する樹脂なので…



「鍋の取っ手」や「ファミレスによくある灰皿」「フライパンの取っ手」  
等に使われています。

新幹線(700系)

新幹線の空調関連の断熱材として、  
ネオマフォームが採用されています。  
高い断熱性能と難燃性が  
評価されました。



※1 H28省エネルギー基準・断熱等性能等級4(住宅性能表示 評価方法基準)の3~8地域における木造・枠組み工法の屋根の断熱材の熱抵抗の基準<sup>※2</sup>に適合する厚さ

※2 断熱材の熱抵抗の基準による場合は、開口部比率の規定への適合が必要です。また、他の部位についても基準適合が必要です。

※3 トレードオフ規定では、開口部などの指定された他の部位の断熱性能を規定以上とすることで、屋根の断熱厚さを本来の基準値の1/2にできましたが、H28省エネ・断熱等性能等級の基準ではこの規定は削除されました。

# ネオマフォームの屋根断熱 de

## 小屋裏空間を快適利用!



解放的な吹き抜け空間

### 【屋根断熱仕様】

ネオマフォーム外張り断熱  
厚さ80mm

#### ◆お客様の声◆

「真夏の暑い日でもロフトに熱がこもることがなく、子供たちも楽しそうに遊んでいます」

東京都N様邸



### ネオマフォーム屋根用カット製品規格

〔JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ、JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C〕の幅/長さを切断加工した製品

軸組工法					
用途	品番	サイズ(mm) 厚さ×幅×長さ	枚/ケース	熱抵抗値	
				[R値]	㎡・K/W
屋根充填	455	45-CR	45×409×1820	4	2.3
		50-CR	50×409×1820	4	2.5
		60-CR	60×409×1820	4	3.0
		80-CR	80×409×1820	4	4.0
		95-CR	95×409×1820	4	4.8
		100-CR	100×409×1820	4	5.0

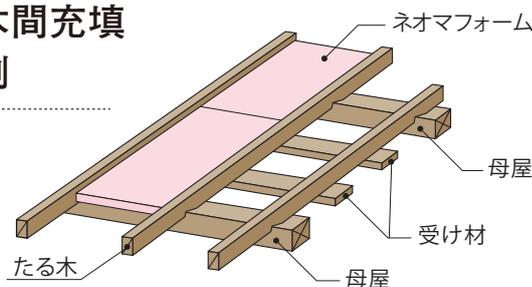
枠組壁工法					
用途	品番	サイズ(mm) 厚さ×幅×長さ	枚/ケース	熱抵抗値	
				[R値]	㎡・K/W
屋根充填	455	45-CA	45×415×1820	4	2.3
		50-CA	50×415×1820	4	2.5
		60-CA	60×415×1820	4	3.0
		80-CA	80×415×1820	4	4.0
		95-CA	95×415×1820	4	4.8
		100-CA	100×415×1820	4	5.0

### ネオマフォーム3×6板、3×10板(80mm以上)

〔JIS A 9521フェノールフォーム断熱材1種2号CⅡ、JIS A 9511フェノールフォーム保温板1種2号C〕

品番	サイズ(mm) 厚さ×幅×長さ	枚/ケース	熱抵抗値 [R値] ㎡・K/W
80-R6	80×910×1820	5	4.0
95-R6	95×910×1820	4	4.8
100-R6	100×910×1820	4	5.0
100-R0	100×910×3030	4	5.0

### たる木間充填 施工例



防湿気密フィルムを設置するなど、結露防止措置を行ってください。

### 平成28年省エネルギー基準

#### 住宅性能表示 断熱等性能等級4

断熱材の熱抵抗の基準値※

地域	3～8地域	
断熱工法 (軸組・枠組)	たる木間・母屋間 充填断熱工法	外張り断熱工法
熱抵抗基準値 (㎡・(K/W))	4.6	4.0
必要厚さ (mm)	92	80
対応する品番	95-CR/100-CR(軸組) 95-CA/100-CA(枠組)	80-R6/95-R6 100-R6/100-R0

※省エネ基準 設計施行指針及び国土交通省告示 第1347号 評価方法基準5-1 断熱等性能等級4 仕様基準による。断熱材の熱抵抗の基準による場合は、開口部比率の規定への適合が必要。また、他の部位についても基準適合が必要です。

#### 〈注意事項〉

- このパンフレットは、ネオマフォームを使った屋根断熱に関する一部を紹介したものです。施工方法等の詳細に関しては施工マニュアルを必ず確認の上、遵守願います。
- ネオマフォームの詳細については「ネオマフォームカタログ」を参照ください。
- 記載内容の仕様、物性、品質等は予告なく変更することがあります。
- ご使用にあたっては、安全確保及び関連法規の遵守をお願い致します。

### 旭化成建材株式会社 <http://www.asahikasei-kenzai.com/>

本社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 (神保町三井ビルディング)	TEL 03 (3296) 3531	FAX 03 (3296) 3535
札幌	〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1 (マルイ札幌ビル)	TEL 011 (261) 5443	FAX 011 (261) 0975
仙台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1 (仙台ファーストタワー)	TEL 022 (223) 8171	FAX 022 (211) 9526
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 (名古屋インターシティ)	TEL 052 (212) 2251	FAX 052 (212) 2257
大阪	〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23 (中之島ダイビル)	TEL 06 (7636) 3838	FAX 06 (7636) 3828
福岡	〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3 (紙与薬院ビル)	TEL 092 (526) 2107	FAX 092 (526) 2492